

令和3年度 第2回 江別市かわまちづくり協議会

日 時 : 令和3年10月25日(月) 14:00~

場 所 : 江別市民会館37号室

次 第

1 開 会

2 議事

- | | |
|------------------------|-------|
| (1) 前回協議会の振り返り | 【資料1】 |
| (2) かわまちづくり勉強会開催報告 | 【資料2】 |
| (3) かわまちづくりの進め方について | 【資料3】 |
| (4) かわまちづくり計画について | 【資料4】 |
| (5) かわまちづくり計画書(素案)について | 【資料5】 |

3 その他

4 閉 会

— 令和3年度第1回江別市かわまちづくり協議会 議事内容 —

① 前回協議会での議事内容について

【藤原委員】 前回12月の報告が8月になるのは遅すぎると思います。なぜこんなに時間がかかったのか説明を求めます。

(説明)

今年度当初以降に新型コロナウイルスの感染状況を考慮しつつ協議会の開催を検討しておりましたが、北海道へ緊急事態宣言が発令されるなど開催が見通せない状況が続いたことから、8月に書面会議にて協議会を開催することといたしました。

今後は、協議会開催後に会議録を各委員へ送付するなど、速やかな報告に努めます。

② 旧岡田倉庫の移設に係る状況報告について

【藤原委員】 ①と同じく、遅すぎると思います。この件に関しても、なぜこんなに時間がかかったのか説明を求めます。前回の協議会でも意見を述べさせていただきましたが、

- ・旧岡田邸が使用可能なのか？
- ・修繕が必要なら金額がいくらかかるのか？
- ・その金額の予算が出るのか？

以上のことがわからなければ、話を進めることができないと思います。

江別市のかわまちづくりの事業計画と照らし合わせると、残りの時間が限られているのに、いまだにこの進捗状況では不安があります。

具体的な不安として、時間がなくなり、駆け足で計画を進めて、全体的に失敗するのではないかと、思います。

(説明)

旧岡田邸(母屋)につきましては、委員ご指摘のとおり、旧岡田倉庫と一体とした利活用方法を検討するにあたり、現在の耐震性や改修費用等を調査する必要があると考えております。

現在、調査に向けての調整等を行っておりますが、調査費用に係る予算等の事情により、調査開始には至っていない状況です。

今後の調査状況につきましては、進展があり次第報告させていただきます。

また、かわまちづくり計画につきましては、来年度のかわまちづくり支援制度への申請に向けて、議論を重ねていきたいと考えておりますが、申請後もかわまちづくりの議論、検討は継続して行い、地域住民等のご意見を可能な限り反映させていきたいと考えております。

③ 江別市かわまちづくり勉強会の実施報告について

【藤原委員】 ①②と同じく、遅いと思います。この件に関しても説明を求めます。

(説明)

①と同様、新型コロナウイルスの感染状況を考慮しつつ協議会の開催を検討しておりましたが、開催が見通せない状況が続いたことから、8月に書面会議にて協議会を開催することといたしました。

今後は、勉強会開催後に勉強会資料及び会議録を各委員へ送付するなど、速やかな報告に努めます。

④江別市かわまちづくりロードマップ（案）について

【小篠委員】この時点でのロードマップは、了承しますが、WGを機動的に動かさないと、川まちづくり計画の骨子を開発局に報告できなくなってしまうので、8/17、9月の勉強会の内容を詰める必要があります。

⑤江別市かわまちづくり勉強会の位置づけ（ワーキンググループ）について

【可決】 承認 8名、不承認 0名

【藤原委員】江別市かわまちづくり勉強会をワーキンググループと同等の位置づけにすることに賛成です。地域住民や事業者の広い参加を求めます。住民や事業者に対して勉強会への参加を募ることにに関してまだ努力が必要だと思います。

自由参加とはいえ、地元の人意識として、「自分たちが主体でまちづくりをする」というよりは、「何か決定したの？ そうなの？ へー。なんだかね」という意識の方が強いと感じます。

自分たちの住む街のことだし、たくさん税金を使う事業なので 関心の輪を広げる努力をしなければいけないと考えます。

たとえば、かわぎし公園が堤防拡張工事のために無くなった事で、近くの3つの幼稚園・保育園に通う子供たちの遊ぶところが少なくなりました。犬の散歩で使っていた人も寂しく思っている。僕が近くに住んでいるから聞いた話であるし、子どもが幼稚園に通っているから、保育士さんから聞いた話です。

関わりのない人からの話や気持ちを知ることはできません。なるべく多くの人と関わり、話をして気持ちを知って、みんなで作り上げていくことを求めます。そのために協議会としてもっと努力をする必要があると思います。

【内田委員】ワーキンググループの存在意義がよく分かりません。協議会と勉強会の二本立てで充分なのでは。

【町村委員】勉強会をワーキンググループに位置付けることに関しては、参加者の同意が前提になるものだと思います。また、現状の勉強会のメンバーは、固定的でないと考えてるので、何かまとまった答申や成果物をワーキンググループに求められた時にどのように討議の流れを踏まえたまとめをするのか、方法論が難しいように思う。

（説明）

協議会は、必要に応じて、テーマごとにその推進について協議調整等を行うワーキンググループを設置することができるものとされ、これまでは、旧岡田倉庫の利活用に関するワーキンググループが開催されております。

協議会の中で、誰もが参加可能で広く意見交換を行えるようなワーキンググループを開催してほしいとの要望があり、市としても広い意見を求める場を設置したいと考えていたことから、協議会のワークショップとして、今後のかわまちづくり計画策定を見据えて、広く地元住民や事業者等との意見交換を行うことを目的に、かわまちづくり勉強会を開催いたしました。

これまでの勉強会においても、ハード、ソフトの利活用方策や運営方法についてなど、幅広い意見が出されており、今後、かわまちづくり支援制度への申請に向けて具体的な整備方策等を検討し

ていくにあたり、地元住民等の意見をより反映させるため、勉強会で出された意見をワーキンググループの意見と同等に位置付けることを協議会としてご承認いただきたいという趣旨から本議題を提案いたしました。

なお、ワーキンググループでは議題に対する最終的な意思決定や答申等は行わず、そこで出された意見内容を基に協議会にて議論を行い、最終的な承認や答申を行う体制とさせていただきたいと考えております。

勉強会を協議会のワーキングとして位置付けることについては、協議会の了承をいただけましたら、次回勉強会にて事務局から参加者へ説明させていただく予定です。

⑥その他、協議会全般について何かご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。

【内田委員】

私の意見書を平成28年1月26日付で地域住民や役所に提示し、その後加筆したものを連合自治会長名で江別市に要望書として提出しております。これは条丁目地区の住民の総意であり、この要望に対してきちんとした対応をお願いいたします。

江別市かわまちづくり勉強会

江別市

勉強会の実施状況

No.	開催日時	概要
第1回	日時:令和3年1月19日(火) 18:00～20:00 場所:江別市コミュニティセンター1F 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・かわまちづくり協議会と勉強会について ・江別市街築堤の整備について ・かわまちづくり支援制度について ・意見交換
第2回	日時:令和3年3月23日(火) 18:00～20:00 場所:江別市コミュニティセンター1F 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・前回勉強会の振り返り ・かわまちづくり先行事例の紹介 ・意見交換をしながらのドローイング ・今後の勉強会の進め方について
<p>※当初予定していた第3回勉強会の代替で、勉強会参加希望者に対する個別ヒアリングを実施。 ※上記の個別ヒアリングとは別に、若年層や女性を対象としたヒアリングを実施。</p>		
第3回	日時:令和3年9月28日(火) 18:00～21:00 場所:ZoomによるWeb開催	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会の位置づけ、今後の進め方について ・前回勉強会及び個別ヒアリングの振り返り ・意見交換をしながらのドローイング ・ハード整備の実施区分について
第4回	日時:令和3年10月18日(月) 18:00～21:00 場所:江別市コミュニティセンター1F 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の進め方について ・前回勉強会の振り返り ・ハード整備内容(案)及びソフト施策内容(案) かわまちづくりに関するグループワーク

第3回勉強会の議事内容等

第3回 江別市かわまちづくり勉強会

日時：令和3年9月28日（火）18:00～21:00

ZoomによるWeb開催

1. 議題

- 勉強会の位置づけ、今後の進め方について
 - 前回勉強会及び個別ヒアリングの振り返り
 - 質疑応答
- ## 2. ワークショップ
- 意見交換をしながらのドロワーイング
 - ハード整備の実施区分について
 - その他

江別市かわまちづくり勉強会 NEWS LETTER

Vol.03
2021.10.8

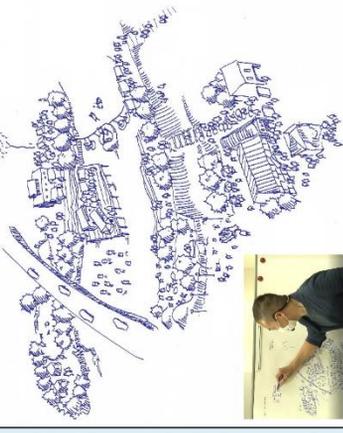
第3回勉強会 報告：9/28（火）開催

旧岡田倉庫の利活用と桑丁目地区のかわまちづくりに関する協議を行うために設立された「江別市かわまちづくり協議会」のワーキンググループとしてWeb勉強会を開催しました。Web勉強会では、下記の議題①②について江別市、江別河川事務所の説明、議題③では整備・利活用や運営体制について意見交換しながら「ドロワーイング」を行いました。新型コロナウイルス禍の非常に厳しい状況にありまが、色々な方々と議論を重ねながら、桑丁目地区を元気にしていきたいと思えます。



桑丁目地区周辺の整備・利活用イメージ（案）

オズベリナク江別
林代表様



今回の勉強会の議題

- ① 今後の勉強会の進め方等について
- ② 前回勉強会等の振り返り
- ③ 意見交換をしながらのドロワーイング



● 意見交換の概要

「対岸の江別河川防災ステーションも活用した水辺利用」「堤防への落並木の整備」「子どもがのびのび遊べる公園空間の整備」「桑丁目地区でイベントを実施する際の一元管理」「外輪船をシンボルとしたかわまちづくり」等に関する意見が挙げられました。
勉強会については、様々な立場からの個別意見を今後集約していくことが提案されました。

江別市かわまちづくり勉強会って何？

千歳川と江別市桑丁目地区の歴史や文化、人々のつながりを活かしながら、桑丁目地区をより明るく元氣するための「かわまちづくり」に関する勉強や意見交換をしています。

桑丁目地区の未来を一緒に考えよう！

次回勉強会は

令和3年10月
開催予定
です！

オズベリナク江別の林代表による
整備・利活用イメージのライブラドロワーイング

【事務局】江別市役所商工労働課内

（電話）011-381-1023（Eメール）shoko2@city.ebetsu.jp



江別市
Ebetsu City

第3回勉強会での主な意見

<まちづくり>

・条丁目地区が本気で目指すまちづくりの方向性

- ・観光地ではなく地元の人たちが住みやすいまちづくり
- ・子どもたちがのびのび遊べるまちづくり
- ・外輪船をシンボルとした条丁目地区の歴史まちづくり
- ・地域の安全・安心に配慮し、地元住民と協力したかわまちづくり

<整備・利活用方策>

- ・防災ステーション下流の石狩川合流点付近での水辺利用
- ・旧岡田倉庫の石畳を活用した小道（堤防への動線）
- ・桜並木でのさくらまつり
- ・堤防側帯によるステージスペースの整備
- ・子ども遊び場になる公園空間の整備
- ・駐車場の整備
- ・条丁目地区のブランド化の必要性（「江別港」「奥江別」等）

<その他>

- ・かわまちづくりが持続できるようなプランニング
- ・勉強会での様々な立場からの個別意見の集約
- ・まちづくりの方向性に基づいた運営スキームや収益確保の議論
- ・新旧一体となったイベントの一元管理
- ・気候変動や生物多様性への対応

第4回勉強会の議事内容等

第4回 江別市かわまちづくり勉強会

日時：令和3年10月18日（月）18:00～21:00

場所：江別市コミュニティセンター1F 多目的ホール

1. 議題

- 今後の進め方について
- 前回勉強会の振り返り
- ハード整備内容（案）及びソフト施策内容（案）
- 質疑応答

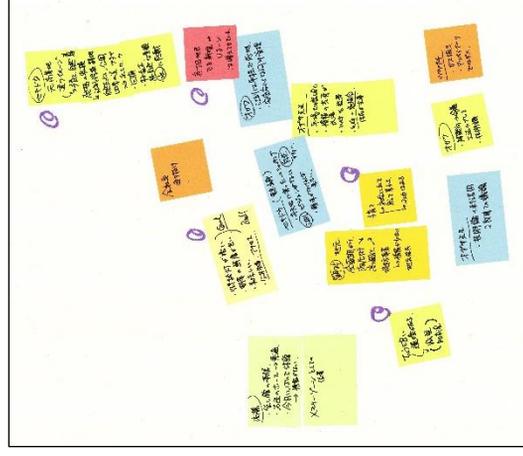
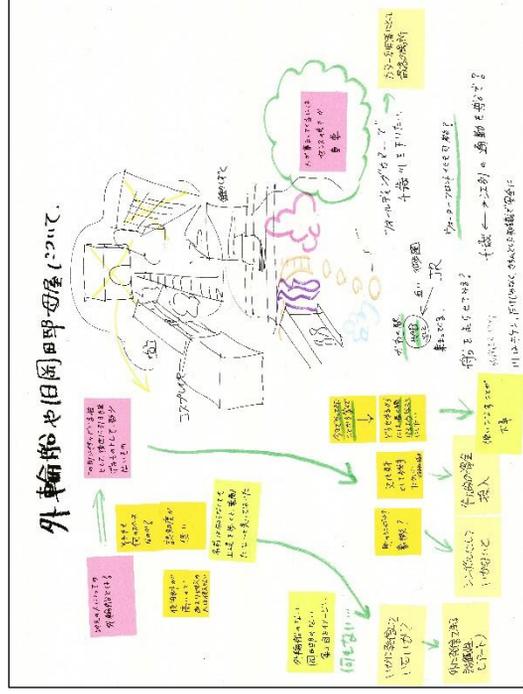
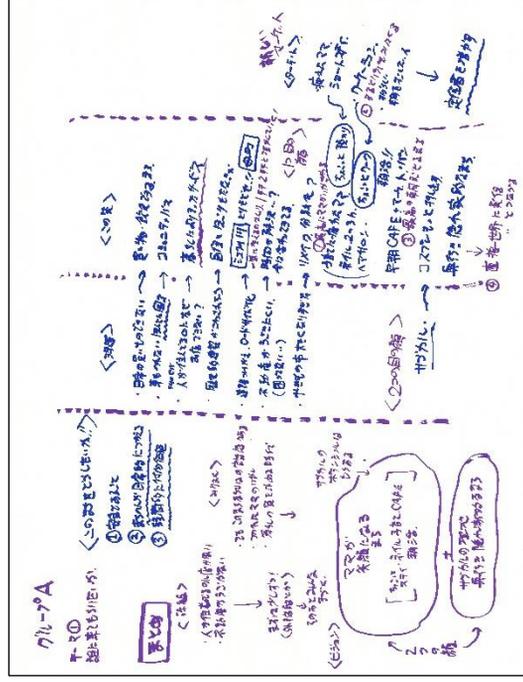
2. かわまちづくりに関するグループワーク

①かわまちづくりについて

- 誰に求めてもらいたいのか？（まちの課題とまちの魅力）
- まちを好きになってもらうためには？
（例／まちのファンをつくるための案丁目スタイルの暮らし方）
- それを実現するための課題は？

②拠点づくりについて

- 外輪船や旧岡田邸母屋などについて（まちづくりの拠点として）



第4回勉強会での主な意見

＜誰に来てもらいたいか？（まちの課題とまちの魅力）＞

- ・地元江別の人、条丁目地区で暮らしたい人、出店希望者に来てもらいたい。
- ・子育て世代の家庭やワーケーション希望者をターゲットにしてみようか。
- ・海外のアーティストに来てもらうのもありだと思おう。

＜まちを好きになってもらうためには？＞

- ・江別ならではの市民やアーティスト向けのイベントや仕組みが重要である。
- ・既存のイベントのリメイクや分散化も考えられる。
- ・子どもが安心して遊べる場所があれば、自然と人が集まってくると思う。

＜それを実現するための課題は？＞

- ・人に来てもらうにしても受け皿がない状況である。
- ・歴史的建造物に対する誇りを持つべきである。
- ・住民の暮らしに寄り添ったサービスの提供が重要である。

＜外輪船や旧岡田邸母屋などについて＞

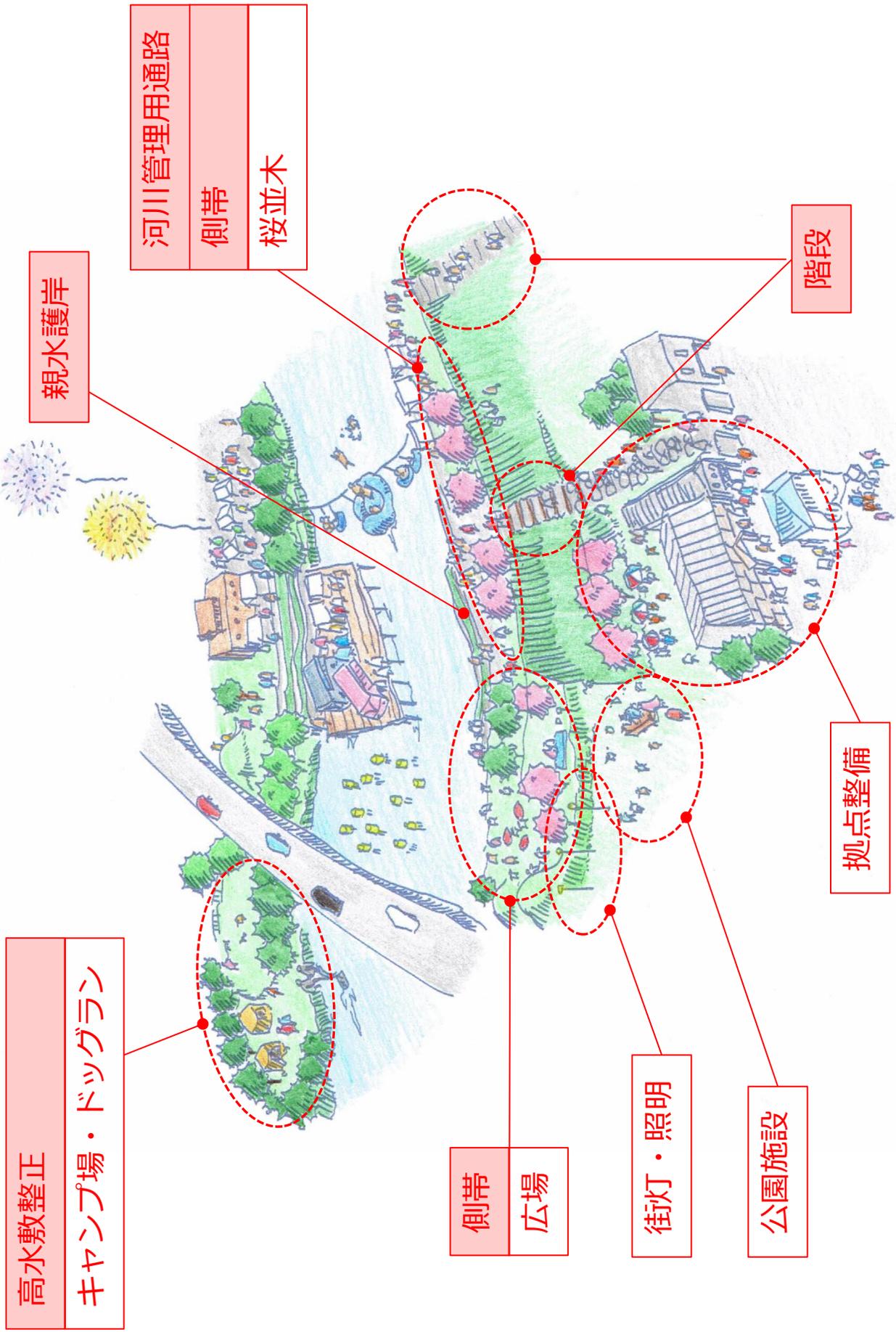
- ・外輪船は、条丁目地区の住民にとって後世に引き継げる数少ないものである。
- ・条丁目地区は、都市型ウォータフロント化も可能かもしれない。
- ・外輪船をダンス、縄跳び、ピアノ等の子ども発表の場で使うのもよい。
- ・集客のためには、センス良く整備することが重要である。
- ・外輪船、旧岡田邸宅母屋等を一体管理して収益を得る仕組みが必要である。
- ・常駐の管理人として、若い力が必要である。

若年層・女性等へのヒアリング結果①

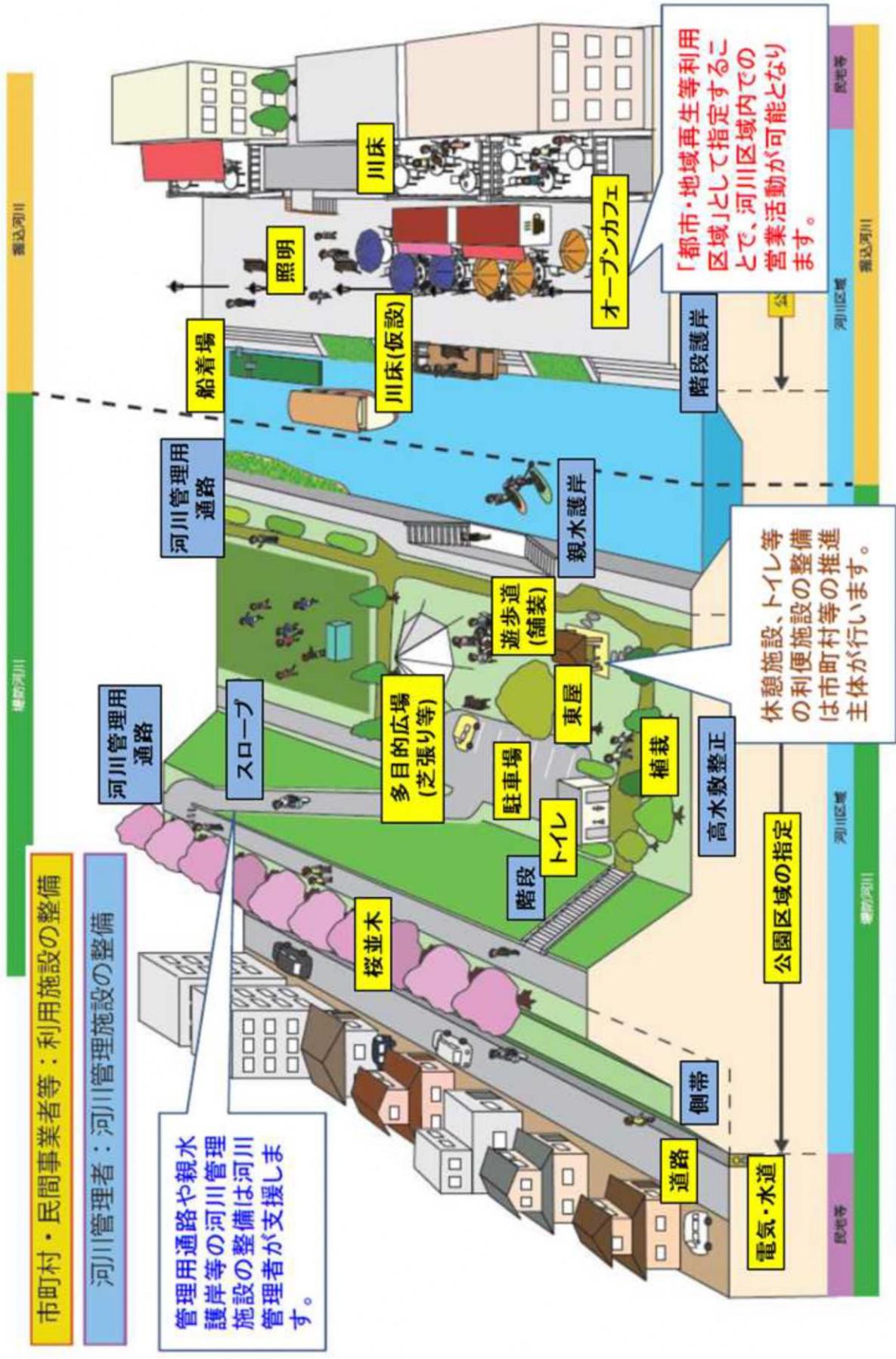
実施対象	ハード整備・ソフト施策に関する主な意見
大谷幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> • 小さい子どもを持つ母親としたら、安全に遊べる場所があるなら連れて行ってみようとなるかもしれない。 • 堤防が整備されて歩きやすくなるなら、散歩のコースとして利用できるかもしれない。 • 水辺は危なくて近づきづらい。
若葉幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> • 水の流れているところで、小さな子が安全に遊べる場所を整備してもらえるとありがたい。 • オープンカフェ、雑貨店、江別の特産物販売等の小さなブースがたくさんあると楽しいと思う。 • 遊びに来るにしても、堤防の近くに駐車場は必要だと思う。
ニチイキッズ えべつ駅前保育園	<ul style="list-style-type: none"> • 砂利道で転ぶと怪我をするため、あまり行かない。 • 安心して遊べるようになるが良い。 • 夏は水遊びができる遊び場があると良い。
北海道情報大学	<ul style="list-style-type: none"> • 河川敷に公園のようなスペースがあるとよい。 • 犬の散歩やスポーツが自由にできるようなスペースがあれば良い。 • サイクリング等でカラダを動かしたついでに立ち寄れる飲食店があると良い。 • 条目地区の住民をターゲットにしたイベントを行うことに意味があると思う。 • キャンプサイトやBBQサイトがあると行きたい。

実施対象	ハード整備・ソフト施策に関する主な意見
<p>NPO法人 やきもの21</p>	<ul style="list-style-type: none"> • かわまちづくりを進めていく上で、お金が重要だと思う。 • 道内では、カフェや喫茶店が併設されている観光施設が多いが、収益性に乏しい状況にあり、施設単独で収益を上げるのは現実的無理だと思う。 • 事業の採算性や生産性を求めたら、誰も運営できないと思う。 • 今の旧岡田倉庫は、程々に閉塞された空間となっているのが良いと思うので、倉庫と中庭の雰囲気を壊したくない。 • 運営するにあたって、将来に繋がっていくようなアイデアを練り込んでいく必要がある。 • 江別の観光の考えた時に、江別に行ってみたいと思わせる要素を考えると、そこからストーリーを構築していく必要がある。
<p>酪農学園大学</p>	<ul style="list-style-type: none"> • あらかじめ予算規模を明示した上で、実現可能な企画を検討する方がよい。 • 整備完成後にSNSで告知するだけでなく、アイデアを具体化し実現していくプロセスを継続的に発信していくとよい。 • 生活感あふれる商店街には人と人の出会いがあって、独特の賑わいがあり、おしゃやかなカフェよりも魅力的だと思う。 • 薦屋を訪れた後夕涼みに訪れるというように、他のエリアと繋がると変化があり、滞在時間も増えると思う。 • 水辺を訪れ、自然環境と触れ合うことができれば、より印象的な場所になると思う。

ハード整備内容(案)



ハード整備に関する実施区分



市町村・民間事業者等：利用施設の整備

河川管理者：河川管理施設の整備

管理通路や親水護岸等の河川管理施設の整備は河川管理者が支援します。

休憩施設、トイレ等の利便施設の整備は市町村等の推進主体が行います。

「都市・地域再生等利用区域」として指定することで、河川区域内での営業活動が可能となります。

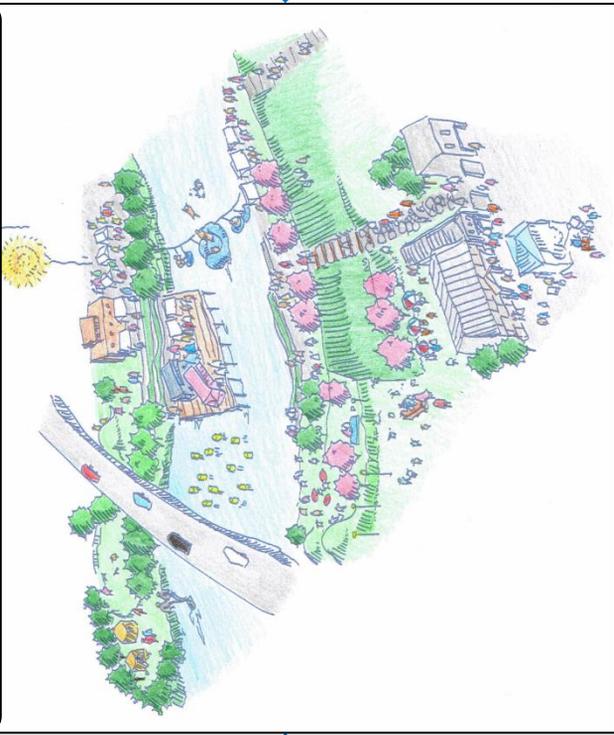
糸丁目地区が目指すまちづくり①

どういうまちを目指す？

何を作る？
＜ハード整備＞

誰がやる？
＜管理運営体制・持続的な仕組み＞

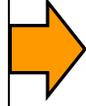
かわまちづくり



住民からの
意見・要望



事業者からの
意見・要望



糸丁目地区の新しい
日常 非日常

条丁目地区が目指すまちづくり②

目標実現に向けた次のステップ

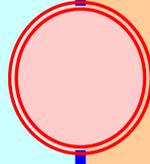
視点①

かわ
[千歳川]

<暮らしの中に「かわ」を取り戻す>

- ・花見
- ・散歩
- ・イベント

水辺



どんな拠点をつくる？

旧岡田倉庫・旧岡田邸など・・・

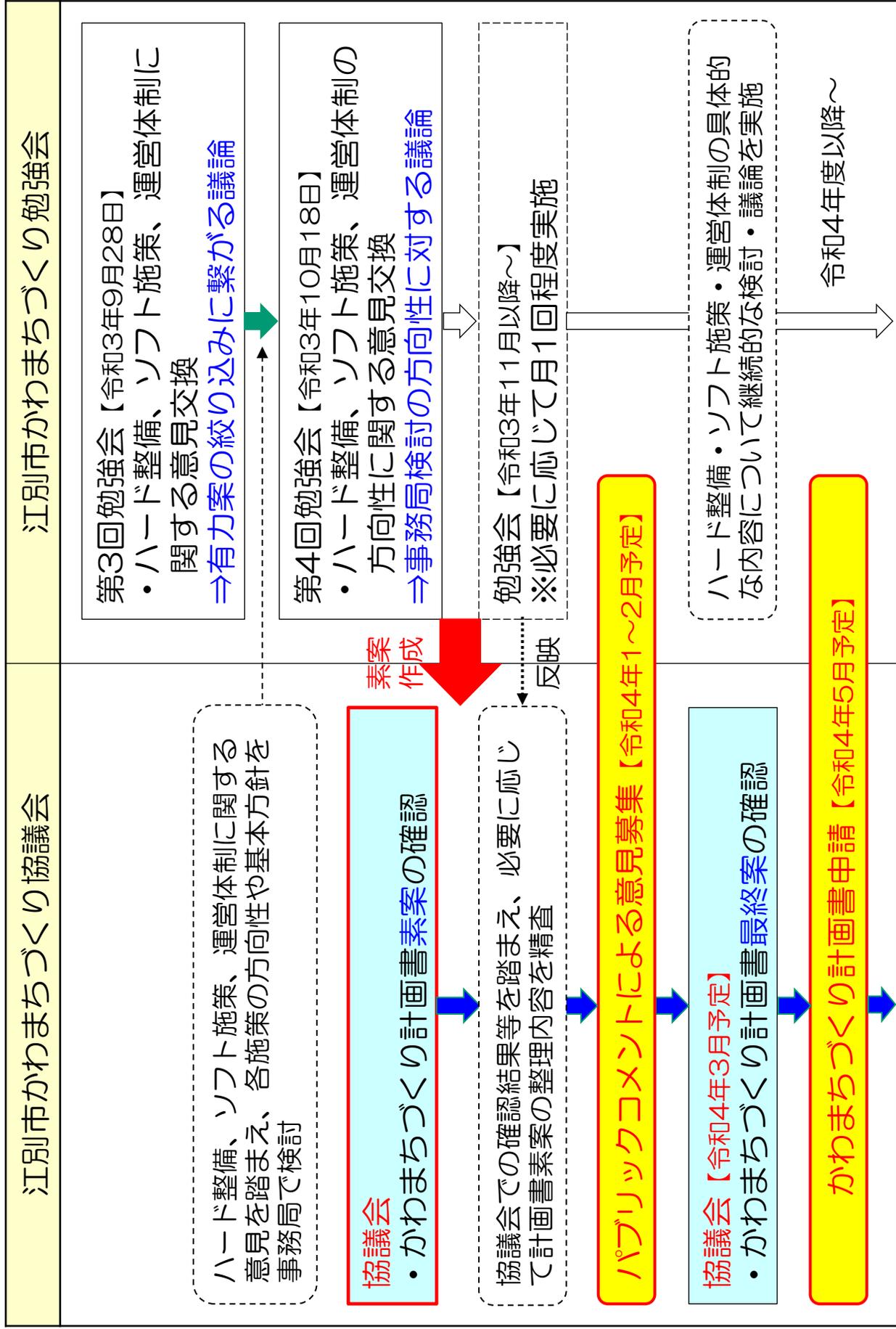
<目標実現に向けた事業>

- ・収益 or 非収益
- ・日常 or 非日常

視点②

まち
[条丁目地区]

かわまちづくりロードマップ



かわまちづくり計画書の概要

資料4

かわまちづくり支援制度の登録を受けようとする際、推進主体と河川管理者が共同で、決められた様式に従って「かわまちづくり計画」を作成し、国土交通省の審査を受ける必要がある。

主な様式	整理内容
①市町村及び河川の概要	人口、市町村の特色、河川と市町村等の関わり、河川の利活用状況等
②水辺とまちづくりに関する基本方針	市町村の関連計画とかわまちづくりの関係性
③ソフト施策の個別施策計画書	水辺空間の利活用方策の概要
④支援整備内容の概要（ハード施策）	水辺空間の施設整備方策の概要
⑤ハード施策の個別整備計画書	整備箇所、整備イメージ、必要性・有効性、推進体制、維持管理等の概要
⑥その他特筆すべき事項	協議会の取組状況、実施イベント等
⑦その他	位置図、写真、関連するまちづくり計画の概要

江別市かわまちづくり

計画書（案）

令和3年10月

江別市

<様式1>

江商工 ●号
令和4年●月●日

(北海道開発局長経由)
国土交通省 水管理・国土保全局長 殿

江別市長 三好 昇

「かわまちづくり」計画の登録について（申請）

「かわまちづくり」支援制度実施要項第7の規定に基づき、申請いたします。

市町村及び河川の概要

1. 市町村等の概要	
①都道府県名	北海道
②市区町村名	江別市
③人口	119,777人(令和3年9月末現在)
④面積	187.38km ²
⑤市の特色	<p>江別市は、石狩平野の中央に位置し、一般的に平坦な地形で豊かな自然環境に恵まれ、札幌市、北広島市、岩見沢市、当別町、南幌町、新篠津村と隣接しており、道央圏で札幌市に次ぐ規模の都市となっています。</p> <p>昭和40年代より宅地造成が進んだ江別市は、5つのJR駅を中心に市街地が形成されており、交通アクセスの良さなどが評価され、札幌市への通勤・通学圏内で最も人口が増加しました。近年は、商業施設や飲食店の進出が目立ち、自然と都市機能が調和したまちとして発展を続けています。</p> <p>江別の語源は、アイヌ語の「ユベオツ」(サメのいる川)または「イブツ」(大事な場所への入口)とされ、明治11年の屯田兵の入植以降、「外輪船」による石狩川の舟運の中心として栄え、当時の隆盛を物語る「旧岡田倉庫」等の歴史的建造物が多く残っています。また、明治24年のレンガ製造開始以降窯業も栄え、現在でもレンガの一大産地となっており、平成16年10月に「江別のれんが」が北海道遺産として認定されています。</p> <p>江別市にまたがり広大な面積を持つ幌森林公園は、昭和43年に北海道百年を記念して道立自然公園に指定されました。公園の大部分を国有林が占め、昭和の森自然休養林や鳥獣保護区に指定されています。公園内には、総延長40kmほどの自然遊歩道、休憩施設、5つの池等があり、市民に親しまれています。</p> <p>江別市内には官民の大規模研究施設が立地し、4大学・1短大があります。近年、研究施設や大学が市内生産者・製造業と連携し地域ブランド創りへの挑戦も盛んになっています。また、研究施設・大学とも市民向けのイベント・セミナーなどを開催するなど、地域に開かれた取組みも積極的です。</p> <p>江別市の産業は第三次産業が中心ですが、農業は大消費地の札幌市に隣接していることもあり、稲作、畑作、酪農等多岐にわたっています。初冬まき栽培で有名な幻の小麦「ハルユタカ」、首都圏で有名な乳製品の自家生産企業、ハム・ソーセージの製造企業等のほか、シーズンには多くの野菜直売所がオープンします。</p>
	 
	旧岡田倉庫
2. 市内の河川の概要	
①主な河川	<ul style="list-style-type: none"> ・石狩川(一級河川石狩川水系、流域面積14,330km²、流路延長268km) ・千歳川(一級河川石狩川水系、流域面積1,244km²、流路延長108km) ・夕張川(一級河川石狩川水系、流域面積1,417km²、流路延長136km) ・豊平川(一級河川石狩川水系、流域面積902km²、流路延長72.5km) <p>石狩川は、江別市の北部に面し、大雪山系石狩岳の西斜面に源を発して上川盆地、石狩平野を経て432の支川を合わせ日本海に注ぐ一級河川です。</p> <p>千歳川は、我が国を代表するカルデラ湖で国内有数の透明度を誇る支笏湖を源とする、石狩川流域の主要な一次支川です。支笏湖周辺は豊かな自然環境によって支笏洞爺国立公園を構成しています。千歳川は全国有数のサケ遡上河川であり、秋には多くの観光客が訪れます。市街地にある河川管理用道路をはじめとする河川空間は、住民によるイベント空間や散策路等としても利用されています。</p> <p>また、夕張川は江別市の東部、豊平川は江別市の西部に面する、石狩川流域の主要な一次支川です。</p>

②河川と江別市や民間事業者との関わり

■石狩川河川敷緑地（昭和 51 年）

ソフトボール場 2 面、サッカー場 2 面、駐車場 2 箇所が整備された石狩川河川敷の公園緑地であり、地域のスポーツの場として多くの人に利用されています。

■江別市景観形成基本計画（平成 18 年 3 月）

自然が創り出すものと人が創り出すものが織りなす「江別らしさ」のある景観として、「自然」「原風景」「れんがの温かさ」を感じる、人にやさしく暮らしていて“ほっ”とする景観のあるまちを目指しています。計画の中で、市民が集う JR 江別駅前や商店街等で、まちの顔として楽しく活気があり「魅力」ある景観として「江別らしさ」「心地よさ」「活気」のある景観や、千歳川と調和した緑豊かで潤いのある景観を目指した取り組みを行うこととしています。

③これまで実施済みの関連施策

■江別河川防災ステーション（平成 14 年完成）

水防資器材の備蓄、水防活動の拠点基地や災害時の避難場所として活用するための施設として、千歳川合流点付近に計画・整備されました。

平常時における防災研修の場や河川情報の提供、川を題材とした歴史、川の恩恵などの展示をはじめ、防災意識の向上に努めるほか、市民の憩いの場として親しまれる空間づくりを展開しています。



河川防災ステーション

■アートスペース外輪船（平成 17 年 7 月オープン）

歴史的建造物である「旧岡田倉庫」を、江別の芸術・文化の発信基地となるイベントスペースとしてリニューアルしました。

「旧岡田倉庫活用民間運営協議会」が江別市から借り受けて管理・運営を行っており、演劇・コンサート・講演会等の各種イベントに利用されています。



アートスペース外輪船

④市民や民間事業者による河川利活用状況

江別市は、度々石狩川や千歳川の洪水氾濫に見舞われてきた地域ですが、河川整備が進められており、多くの市民が憩いや自然とのふれあい、イベントの場として広く河川空間を利活用しています。

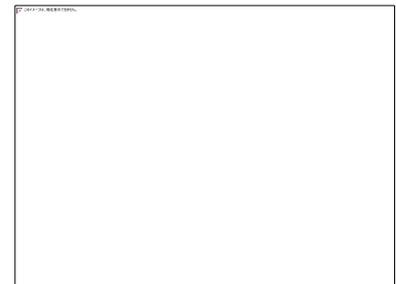
- ・千歳川沿いの河川管理用道路で、散策を楽しむ光景が見られます。
- ・春には「こいのぼりフェスティバル」、夏には「えべつ花火」「石狩川リバーセービング」など、多くのイベントが開催されており、過去に NPO 主体で開催された「ミズベのロングマーケット」では、千歳川沿いで多くの市民がコンサート・雑貨販売・クルーズ等を楽しんでいます。
- ・江別河川防災ステーションでは、江別の観光の紹介及び物産の販売を行っています。
- ・市民や地元の NPO 等と河川管理者が連携しながら、市民参加による清掃活動等の維持管理や小学生を対象とした水生生物の観察会等の環境教育に取り組んでいます。



こいのぼりフェスティバル



ミズベのロングマーケット



野菜直売所（防災ステーション）

<様式3>

水辺とまちづくりに関する基本方針

江別市では、「えべつ未来づくりビジョン（第6次江別市総合計画）」に基づき、地域資源を活かし江別観光の魅力をさらに高めるとともに、商店街の活性化等を推進し、観光による産業の振興に努めています。地域資源の発掘と活用、観光・イベント情報の発信を行い、江別市のイメージアップ、物産と観光が融合した江別ブランドの確立を図っているところです。

また、「江別市都市計画マスタープラン2014」における江別地域のまちづくり構想に基づき、江別駅周辺の歴史性や界索性、良好な河川環境等の特性を活かした地域の魅力向上を目指して、地区核にふさわしいJR江別駅周辺の再構築による周辺市街地との連鎖的な活性化、重要な地域資源である千歳川と共存した地域づくりを推進しています。

平成30年3月に「江別市観光振興計画」を策定し、各主体が役割を分担しつつ、観光資源を活かした魅力づくりと観光プロモーション、市民や事業者が実感する観光まちづくりを推進し、「食と農の豊かな実り、れんがと歴史にふれる街」を目指しています。

今回の「かわまちづくり」計画による新たな整備により、条丁目地区と千歳川が一体となった水辺空間の活用をより一層進め、江別市の地域活性化に寄与することを目指します。

主体	役割
市民	<ul style="list-style-type: none"> ○江別市居住者、市民団体、ボランティア、大学生を含む、江別市に関わるすべての市民は、江別の魅力の一番の理解者であり、江別市の観光振興の応援団です。 ○本計画を推進するため、市民一人ひとりが良き情報発信者、良き実践者としての役割を担います。
民間	<p>【観光関連団体の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光関連団体は、情報発信等の観光振興に関する事業を実施する主体となります。 ○本計画を推進するため、組織体制の充実、強化に努め、観光振興に関する事業の実施・調整について、民間の中心的役割を担います。 <p>【観光関連事業者・民間事業者の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光関連事業者や民間事業者、市内の4大学および関連機関は、それぞれの事業を通じ観光振興を推進する役割を担います。 ○本計画を推進するため、観光関連団体と連携し、観光事業の実施主体となります。
行政	<ul style="list-style-type: none"> ○江別市は観光振興に関わる事業を実施するほか、広く観光情報発信を行い、江別市の魅力発信に取り組みます。 ○本計画を推進するため、民間や市民、他市町村等との調整やコーディネートを行うほか、様々な事業の実施主体をバックアップする役割を担います。



「江別市観光振興計画」における各主体の役割

<様式4>

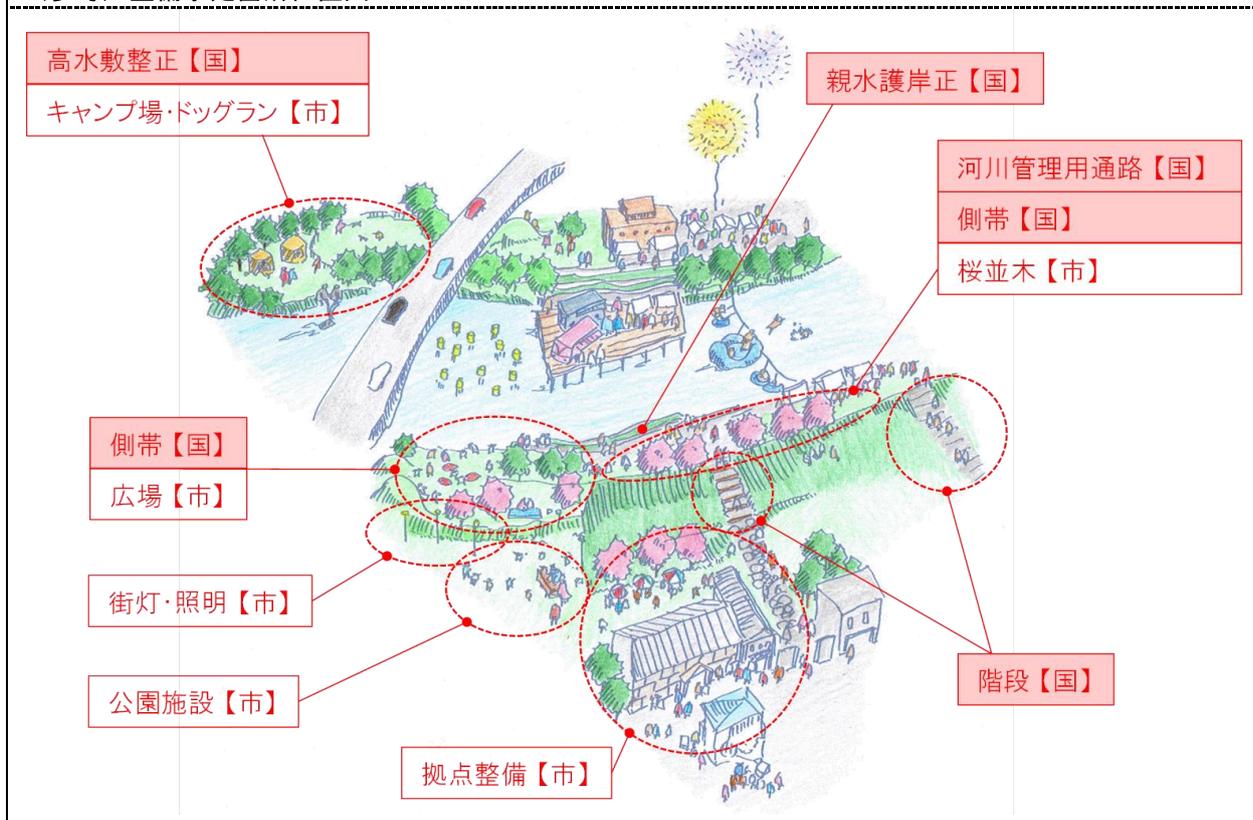
ソフト施策の個別施策計画書

1. 河川名
石狩川水系千歳川
2. 提案事業の実施範囲
千歳川 江別市条丁目地区
3. 提案事業の概要
千歳川 江別市条丁目地区
【協議会・勉強会の発足】
・令和2年11月、江別市、学識経験者、地元関係者等からなる「江別市かわまちづくり協議会」を設立し、江別市街築堤整備（石狩川・千歳川堤防整備）に伴い移設を要する「旧岡田倉庫」の利活用方法等について検討するとともに、旧岡田倉庫周辺の河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す取組について協議してきました。
・令和3年1月以降、「江別市かわまちづくり協議会」のワーキンググループとして、「江別市かわまちづくり勉強会」を定期的で開催し、条丁目地区の水辺整備や河川空間の利活用推進に向けた意見交換を行っています。
・今後、民間事業者を加え、事業を遂行する実行組織の発足を支援します。
【既存制度の活用と展開】
※今後、江別市かわまちづくり協議会・勉強会で了解を得られたソフト施策内容に基づく文言を整理
【行政（江別市）による事業支援】
※今後、江別市かわまちづくり協議会・勉強会で了解を得られたソフト施策内容に基づく文言を整理
【ソフト施策】
条丁目地区を周遊する観光モデルコースの設定、千歳川の水辺空間を活用した新たなイベントの企画、冬期のアクティビティの実施等を行い、「旧岡田倉庫」を条丁目地区における利活用拠点「川の駅」に位置づけます。
※今後、江別市かわまちづくり協議会・勉強会で了解を得られたソフト施策内容に基づく文言を整理
（参考）
図：江別市かわまちづくり管理・運営組織の実施体制（案）
※今後、江別市かわまちづくり協議会・勉強会で了解を得られた実施体制（案）模式図を整理

支援整備内容の概要（ハード施策）

1. 河川名
石狩川水系千歳川
2. 整備範囲
千歳川下流 江別市街築堤
3. 整備内容
<p>千歳川の江別市街築堤の水辺整備や「旧岡田倉庫」周辺の基盤整備とともに、「都市・地域再生等利用区域」指定を行うことにより、イベントやマルシェ等を開催し、水辺とまちをつなぐ人の流れを創出します。</p> <p>また、「旧岡田倉庫」を条丁目地区における利活用拠点「川の駅」に位置づけ、江別市条丁目地区の歴史・文化・観光等に関する情報を発信し、「旧岡田倉庫」を拠点としたまちなかへの回遊を促進します。</p> <p>1) 千歳川の水辺整備（河川管理用通路、高水敷整正、側帯、親水護岸、階段） ※今後、江別市かわまちづくり協議会・勉強会で了解を得られたハード整備内容に基づく文言を整理</p> <p>2) 「旧岡田倉庫」の基盤整備 ※今後、江別市かわまちづくり協議会・勉強会で了解を得られたハード整備内容に基づく文言を整理</p> <p>3) 河川管理用通路の整備と周遊コースの設定 ※今後、江別市かわまちづくり協議会・勉強会で了解を得られたハード整備内容に基づく文言を整理</p> <p>4) 条丁目地区の施設整備（桜並木、公園・広場、街灯・照明、拠点施設整備） ※今後、江別市かわまちづくり協議会・勉強会で了解を得られたハード整備内容に基づく文言を整理</p> <p>5) 市内看板等の整備 ※今後、江別市かわまちづくり協議会・勉強会で了解を得られたハード整備内容に基づく文言を整理</p>

（参考）整備予定箇所位置図



3. 整備の必要性、有効性

整備予定箇所は千歳川合流点付近にあり、対岸に江別河川防災ステーションがありますが、河川空間の賑わいの面では、主に地元住民のカヌー利用や一時的なイベント利用にとどまっています。

また、千歳川沿いの江別市条丁目地区には、舟運で栄えた明治時代のレトロを感じさせる旧岡田倉庫等の歴史的建造物が数多く点在しており、「アートスペース外輪船」が演劇・コンサート・講演会等の各種イベントに利用されています。しかしながら、国道12号線の切り替え国道等により商店街の衰退や空き家等が増加しているため、江別の魅力を再発見し、川のある暮らしを望む声が挙がっていました。

さらに、江別市の観光の面では、市内に観光客が宿泊できる施設が少なく、滞在型の観光に向いていないこと、また大都市札幌に近いという地理的要因等から、通過型観光地とならざるを得ない状況であり、今後江別市の観光資源を活かし、道内誘客、特に近隣市町村からの誘客が重要となっています。

そこで、「江別市かわまちづくり」によって条丁目地区に隣接する水辺空間を整備することで、イベントでの利用価値を向上させ、江別の特産品の青空マーケットや地域の祭り等のイベントを開催することにより、着地型観光拠点として位置付けていきます。また、水上アクティビティの水面利用環境の改善や河川管理用通路の連続性確保によって、利用者の満足度を高めることができます。

さらに、条丁目地区を中心とした広域周遊観光の拠点として位置づけ、既存の歴史的建造物の利活用施設としての機能を充実させるとともに、観光情報を提供する拠点とすることができます。

まち・人・水辺を結び、条丁目地区の認知度・知名度が向上することによって、まちなかの交流人口の増加と地域活性化を見込んでおり、市民の期待も大変高まっています。

4. 整備の実現方策

【関連事業の整備計画】

・平成21年2月に隣接する札幌市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村とともに広域観光振興を目指す「さっぽろ広域観光圏整備計画」を策定し、観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に係る様々な事業に取り組んでいます。

・江別市では「江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、平成27年度から5ヶ年計画で観光振興による交流人口の増加と経済活性化を目指しています。具体的な事業としては、大学及び学生等との連携事業、学生地域活動補助事業、グリーンツーリズム関連事業（直売所・貸し農園・農産加工）、北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区の取り組みを首都圏の企業にPRする広報事業等があります。

・こうした事業と連携することにより、賑わいのある水辺空間の利活用の推進を図ることができます。

・条丁目地区の利活用拠点となる旧岡田倉庫は、千歳川の築堤整備に伴い移設される予定であり、工事に合わせて利便性を確保できるよう、関係機関や河川管理者と調整を進めています。

【整備工程】

※江別市かわまちづくり協議会・勉強会で了解を得られたハード整備内容に基づく整備工程を整理

5. 推進体制

令和2年11月に江別市、学識経験者、地元関係者、河川管理者（札幌開発建設部）等連携の下、江別市街築堤整備に伴い移設を要する旧岡田倉庫の利活用方法等を検討し、旧岡田倉庫周辺の河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す取組について協議することを目的とした「江別市かわまちづくり協議会」を設立しました。令和3年1月から「江別市かわまちづくり勉強会」を開催し、より具体的な事業計画の策定と実践に向けた議論・検討等を推進しています。さらに、民間事業者等を加え、事業を遂行・運営する実行組織の発足を目指します。

6. 有効利用および維持管理

①有効利用に関する計画

※江別市かわまちづくり協議会・勉強会で了解を得られたハード整備内容に基づく文言を整理

②維持管理計画

- ・旧岡田倉庫及び水辺の整備施設の内、河川管理施設等の防災上必要とされる施設機能の維持管理については、河川管理者が行います。
(国：河川管理用道路、護岸等)
- ・非常時（洪水氾濫時及び事後）における河川空間等の管理については、河川管理者が行います。
- ・河川等の占用に伴う占用物に対する日常的な維持管理・清掃等に関しては、江別市、地元関係者、民間事業者等からなる実行組織）及び河川管理者が連携して実施します。
- ・維持管理費用については、官民で分担して永続的に維持管理が可能となるよう、適切なライフサイクルコストを検討していきます。

7. 特徴

歴史が結ぶ まち・人・水辺

～旧岡田倉庫は、江別市条丁目地区における着地型観光拠点として生まれ変わります～

旧岡田倉庫等は「アートスペース外輪船」として、演劇・コンサート・講演会等の各種イベントに利用されてきましたが、隣接する千歳川の河川景観や広大な水辺空間というここにしかない魅力を最大限に活かせていませんでした。

「江別市かわまちづくり」の整備により、まちなかから水辺への人の流れを創出するとともに、条丁目地区及び周辺地域の企業や事業者等と連携して運営することで、来訪者に様々なツールを提供し、交流人口を増加します。



水辺整備予定箇所



基盤整備予定箇所

<様式6>

その他特筆すべき事項

※今後、旧岡田倉庫活用民間運営協議会等の条丁目地区における取組内容を整理